

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

袖ヶ浦「水と食への信頼性」再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

袖ヶ浦市

### 3 地域再生計画の区域

袖ヶ浦市の全域

### 4 地域再生計画の目標

袖ヶ浦市は、房総半島の東京湾側ほぼ中央部に位置し、人口60,528人（平成17年4月1日現在）、面積94.92km<sup>2</sup>を有し、北西部から東部にかけて清澄山系に連なる平坦な丘陵地帯には畑地が開け、西南部から南部にかけては沖積層の肥沃な水田地帯が開けている。市の南部を東西に2級河川小櫃川が横断し、その他にも袖ヶ浦に多く見られる谷津を水源とし、小櫃川に合流する河川と直接東京湾に流入する河川がいくつか流れている。その流域にはホタルやカブトムシ、ヤマユリなど良好な水辺や森林等の広がりのある自然環境の存在を指標する動植物がまだ多く生息、生育している。

しかしながら、昭和40年代前半からの埋め立てによって臨海部が京葉臨海コンビナートの一部となり、産業経済活動が飛躍的に発展する中で、人口の急増（この20年で約14,000人増）とともに、大気や水の汚染による生活環境の悪化、宅地開発等による自然の改変などの問題が顕在化してきている。工業排水の対策が進んだ反面、家庭からの生活排水が地域の水環境にもたらす負荷は大きくなっており、農村地域等における貴重な動植物が生息・生育できる良好な環境を出来る限り保全していくことが求められている。

このため、農業集落排水施設整備と合併処理浄化槽設置を一体として行い、農村地域を中心として河川等の水質浄化を促進し、良好な環境・景観の維持・保全に努める。

汚水処理施設の整備を行う一方で、「自然観察会」を開催し、内陸部の身近で豊かな自然を探訪する機会を設け、水や自然の重要性を認識させるとともに、「農村公園ひらおかの里」を中心とした体験型農業を推進し、自ら生産する活動を通じて



## 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

### 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。  
なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・農業集落排水……平成18年1月に、事業採択の通知を国より受けている。

#### 〔事業主体〕

- ・いずれも袖ヶ浦市

#### 〔施設の種類〕

- ・農業集落排水施設、浄化槽

#### 〔事業区域〕

- ・農業集落排水施設 袖ヶ浦市平岡地区事業区域
- ・浄化槽 袖ヶ浦市全域、ただし次の地域を除く  
公共下水道認可区域及び公共下水道計画区域  
農業集落排水事業区域  
工業専用地域

#### 〔事業期間〕

- ・農業集落排水施設 平成18年度～平成22年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成18年度～平成22年度

#### 〔整備量〕

- ・農業集落排水施設 管路 75～250 8.1 km  
処理場 1ヶ所（3270人槽）  
中継ポンプ基地 6基
- ・浄化槽（個人設置型） 250基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり

農業集落排水 平岡地区で1,008人

浄化槽 750人

#### 〔事業費〕

- ・農業集落排水施設 1,397,840千円  
(うち、交付金 698,920千円)
- ・浄化槽 83,100千円  
(うち、交付金 27,700千円)
- ・合計 1,480,940千円  
(うち交付金 726,620千円)

### 5 - 3 その他の事業

- ・ 強い農業づくり交付金事業（農畜産物直売所の建設）
- ・ ブランド製品のPR及び創出

### 6 計画期間

平成18年度～平成22年度

ただし、農業集落排水事業における本市の全体計画は平成23年度までの6ヵ年を計画期間としている。

### 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画の終了後は、4に示す数値に照らして、市が状況を調査、評価し、公表する。

なお、整備された污水处理施設については、水質検査、維持管理等が適切に行われていることについて、施設管理者とは異なる第三者が行った水質検査等により評価する。

### 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし